

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年度～平成32年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(なかがわ) 那珂川森林計画区 (栃木県)	事業実施主体	関東森林管理局 塩那森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、栃木県東部の大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市と芳賀郡茂木町、塩谷郡塩谷町、那須郡那須町、那珂川町の5市4町を包括しており、那珂川森林計画区の森林133千haのうち、41千haの国有林を対象としている。国有林は西部の那須山地東面、東部の八溝山地西面に広がり、那珂川本流、箒川の源流部等の重要な水源地帯に位置しており、林況は林地面積の63%がブナやミズナラ等の天然林、33%がスギ等の人工林となっている。</p> <p>東部の八溝地区や南西部の高原地区は、「八溝材」「高原材」等の優良材生産とこれを基盤とした木材加工業等が立地する地区であり、北部から西部にかけては、自然度の高い森林が分布し、自然探勝・スキー等の森林レクリエーション、保健休養の場として活用されている。</p> <p>また、本計画区では水源かん養保安林が国有林野面積の83%に達し、生活用水や農業用水等の重要な役割を担うとともに、保健・土砂流出防備保安林等に指定され、地域社会を守る重要な役割を果たしている。</p> <p>本事業においては、森林のもつ多面的機能に対する地域の期待や要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、木材の利用推進に資することを目的とする。</p>		
	主な事業内容	森林整備	更新面積 616ha 保育面積 5,126ha
		路網整備	開設延長 17.4km 改良延長 0.9km
	総事業費		2,108,323千円
費用対効果分析	総便益(B)	11,567,090千円	
	総費用(C)	2,723,553千円	
	分析結果(B/C)	4.25	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 林産物の安定供給に資するほか、近年顕著となっている集中豪雨等による災害を防止する観点からも森林の有する水源涵養機能等の多面的機能の発揮が求められており、本事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、路網整備と連携した計画となっている。 ・ 効率性 伐採計画を踏まえた路網整備や更新計画となっていると同時に、良好な景観の維持等にも資することから事業の効率性が認められる。 <p>新規事業採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

別紙様式 7

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：那珂川森林計画区

都道府県名：栃木県
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,722,498	
	流域貯水便益	706,308	
	水質浄化便益	1,714,342	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,057,369	
環境保全便益	炭素固定便益	971,397	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	189,502	
	木材利用増進便益	566	
	木材生産確保・増進便益	1,519,819	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	5,586	
	森林整備促進便益	679,703	
総 便 益 (B)		11,567,090	
総 費 用 (C)		2,723,553	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{11,567,090}{2,723,553} = 4.25$		

